

# 中部経済圏の産業



日本一の貿易港を擁し、産業地帯を結ぶ交通網が発達した環境では、世界を近く感じ、仕事にやりがいを感じ、人も多いだろう。

総務省の社会生活基本調査（11年）によると、地域ごとの平均通勤・通学時間が東京圏では41分であるのに対し、東海地域では28分だった。通勤時間の短さは、働きやすさにつながる重要なポイントだ。また、労働者1人の平均年間休日数は、全国で105・8日であるのに対し、愛知県は109・3日だった。ゆとりは生活の質の向上を生む。14年の雇用均等基本調査などによ

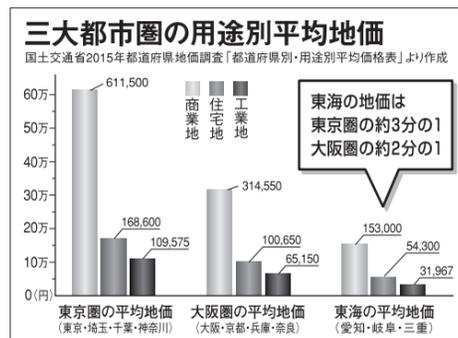
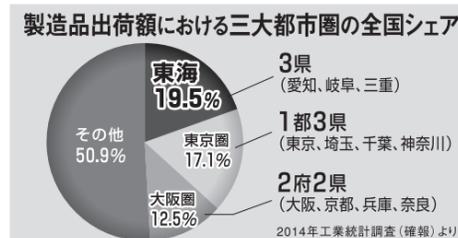
ると、全国では86・6%の女性の育児休業取得率も、愛知県では97・5%と高い。

## 働きがいを実感する環境

私たちは中部経済の発展に貢献しています

ものづくり産業の集積地・中部でも核となるのは、東海地方と呼ばれる愛知、岐阜、三重の3県（静岡が入る場合もある）で、製造品出荷額は、三大都市圏のうちそれぞれ1県多いほかの都市圏をしのぐ。その発展には、資材や製品の輸送コスト削減、時間短縮を実現する高規格道路網が大きく寄与している。

東名・名神高速をはじめとした東西経済圏につながる大動脈に加え、名古屋高速や名古屋第二環状自動車道、伊勢湾岸自動車道、東海環状自動車道といった道路網が二重、三重に生産拠点を結ぶ。そうした陸送ネットワークは、13年連続で総取り扱い貨物量日本一を誇る名古屋港に直結しており、海陸一貫輸送を可能にしている。2月13日に豊田東JCT・浜松いなさJCT間が開通し、区間が延長したばかりの新東名高速に



東海エリアの魅力の一つに、ほかの都市圏に比べた地価の安値が挙げられる。15年の地価調査によると、東海の平均地価は東京圏の約3分の1、大阪圏の約2分の1となっている。もと

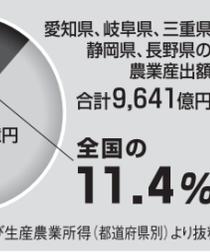
一方で東海エリアは自然環境も豊かだ。総土地面積の7割を森林が占め、農業でも強さを発揮している。耕地は総土地面積の9%（15年の農林水産省耕地及び作付面積統計より）。特にキャベツやキクの生産量が全国1位の愛知県は、県別の農業産出額で全国7位と上位に付けている。海や川に恵まれていることもあり、3県とも多くの魚種で漁獲量が全国上位となっている。

また、東京・大阪圏で農業就業人口の男女比が男52・4%、女47・6%であるのに対し、東海エリアは男49・8%、女50・2%で女性がも多いのも特徴だろう（15年農林業センサス）。

## 三大都市圏（東京・大阪・東海）で比較してみる — 東海エリアの特徴と魅力 —

道、伊勢湾岸自動車道、東海環状自動車道といった道路網が二重、三重に生産拠点を結ぶ。そうした陸送ネットワークは、13年連続で総取り扱い貨物量日本一を誇る名古屋港に直結しており、海陸一貫輸送を可能にしている。2月13日に豊田東JCT・浜松いなさJCT間が開通し、区間が延長したばかりの新東名高速に

東海エリアの魅力の一つに、ほかの都市圏に比べた地価の安値が挙げられる。15年の地価調査によると、東海の平均地価は東京圏の約3分の1、大阪圏の約2分の1となっている。もと



2014年の工業統計調査（確報）をみると、愛知県の製造品出荷額は43兆8313億円で38年連続トップとなっており、2位（神奈川県）17兆7210億円以下を大きく突き放している。中部5県（愛知・岐阜・三重・静岡・長野）を合わせると、全国シェア26・5%と、中部5県で日本全体の約4分の1を占める。

また、名古屋税関が発表した15年の中部5県の貿易概況では、輸出18兆3890億円、輸入10兆6782億円、差し引き8兆3212億円の黒字だった。これは、税関別で全国1位の数字であり、名古屋税関（中部5県）は、29年連続で全国1位を維持している。主要品目では、自動車輸送品が31・3%を占め、輸出の43・1%が自動車関連品ということになる。全国シェアとして

とめた地域経済報告（通称・さくらレポート）によると、昨年10月から3カ月間の東海（愛知・岐阜・三重・静岡）の4県の（景気動向）は「緩やかに拡大」と評され、他地域で「回復」という表現が使われる中、唯一「拡大」という言

少し古いデータになるが、内閣府の12年度県民経済計算で実質経済成長率をみると、全県計は0・3%だが、東海3県（愛知・岐阜・三重）では3・8%と高い成長率を記録している。

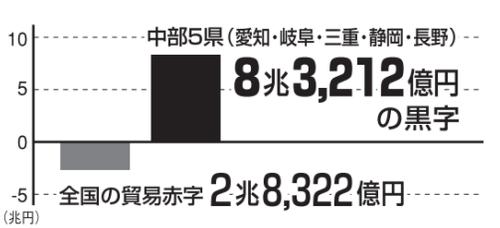
## 中部の景気動向

2014年の工業統計調査（確報）をみると、愛知県の製造品出荷額は43兆8313億円で38年連続トップとなっており、2位（神奈川県）17兆7210億円以下を大きく突き放している。中部5県（愛知・岐阜・三重・静岡・長野）を合わせると、全国シェア26・5%と、中部5県で日本全体の約4分の1を占める。

## 日本を支えるものづくり

自動車に代表される「ものづくり産業」の中心地として、日本経済を支える中部圏。古くから人やモノが集まる東西日本の中継地点であり、豊かな自然や伝統を生かした観光や農業でも、存在感を放つエリアだ。日本の産業をけん引し、果敢に未来へ挑む中部の産業の現状と将来像を探る。

## 貿易統計



葉が使われている。また、経済成長の指標にもなる（設備投資）では、全国的に緩やかな増加基調にある中「大幅に増加」と判断された。昨年12月の短観における東海地域の設備投資では、製造業で維持・更新投資や新製品・省力化対応投資を積極化しており、非製造業でも個人消費関連における出店・改装、物流施設の新設などが、前年を大幅に上回る計画となっている。



# 日本へ世界へ羽ばたく

## 未来への期待 ますます高まる

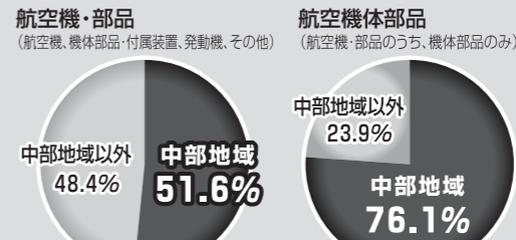
### ジェット旅客機や自動運転 次世代産業への取り組み

15年の名古屋港貿易概況(速報)で主な品目を見ると、輸出の部で、自動車の部分品(1兆7350億円)と航空機類(3125億円)が過去最高金額となっている。特に航空機類の伸び率は8.7%と高く、

5年連続で増加している。現在、愛知県を中心とした5県46市16町3村と多数の事業者は「アジアNO.1航空宇宙産業クラスター形成特区」を構成し、需要拡大が見込まれる航空宇宙産業の世界シェアの拡大を目指している。

もともと中部は、20世紀初頭から航空機産業が集積する地域。戦後の空白期間を経て、再び技術力を蓄え、今に至る。域内には大手機体メーカーのほか、炭素繊維複合材料の開発・製造を行う企業、部品や工作機械を供給したり、

#### 航空宇宙産業の集積状況



出展：中部経済産業局「管内生産動態統計集計結果」  
経済産業省「生産動態統計調査」(2014年2月)

また、臨海部に立地する機体メーカーが、海運で資材を輸入して、製品を中部国際空港まで海上輸送し、空港から海外へ空輸するという環境の長所を最大限生かした輸送も行われている。

航空宇宙産業は自動車の100倍以上の数の部品を使い、その技術は他分野への応用も広く裾野の広い産業だ。現在は、国産初の小型ジェット旅客機「MRJ(三菱リージョナルジェット)」の開発や、米ボーイング社の最新中型旅客機787量産化への対応で活況を呈している。中部圏では、航空宇宙産業を自動車に続く次世代産業として育

成し、ものづくり産業のさらなる成長につなげようとしている。

航空宇宙産業と並行してものづくり王国・愛知県が強化を目指す次世代産業に、自動車とロボット産業がある。これら近未来技術の実証を行う愛知県の取り組みが「国家戦略特区」の取り組みの一つに指定されており、昨年初春には、全国で初めて一般道路での自動走行実験を行った。ほかに、14年に燃料電池車(FCEV)が県内のメーカーによって量産化されるなど、新技術の実用化へのあくなき挑戦が光る。

今後、新技術をイノベーションにつなげる取り組みは続いていく。



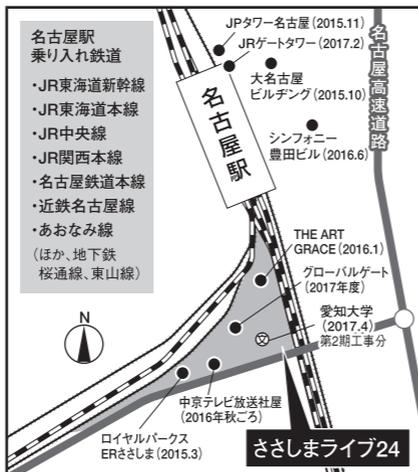
中部国際空港(手前)と、取り扱い貨物量・貿易額日本一を誇る名古屋港  
写真提供:名古屋港管理組合

### リニア開業に向け 変貌する名古屋駅周辺

14年10月に工事実施計画の認可を受け、27年の開業を目指して工事が進められているJR東海のリニア中央新幹線。まずは東京―名古屋間を40分で結び、45年には東京―大阪を67分で移動できるように

置かれる予定で、周辺の整備が進んでいる。

名古屋駅ではこのリニア開業を大きなチャンスと捉え「世界に冠たるスーパーターミナル・ナゴヤ」を目指したまちづくりに取り組み。名古屋駅を、大都市圏の玄関口にふさわしい風格とにぎわいを感じさせる空間にし、国際的なビジネス拠点とすべく、周辺にはホテルや商業施設を備えた高層ビルの竣工が相次いでいる。来春には高さ220mのJRゲートタワーも開業予定だ。



2015~17年度に名古屋駅周辺で建設または建設予定の主な高層ビル(カッコ内は竣工または開業予定)  
※名古屋市公表資料などにより作成

また、名古屋駅の南に広がる大規模再開発エリア「ささしまライブ24」では、ライブホールやシネコン、大学などに続き、ホテルやテレビ局の開業も予定されており、駅前の活性化との相乗効果が期待されている。

### 2020年へ 新たな交流拠点も新設

国を挙げた東京五輪が控える20年まであと4年。交流人口の増加や景気の起爆剤として、日本各地で訪日客を「おもてなし」する準備が始められている。

国内外の代表レベルのスポーツ選手による事前合宿の誘致に向けた取り組みも活発だ。すでに岐阜県では、フランス陸上競技連盟と「飛騨御嶽高原高地トレーニングエリア」を合

宿地として活用する合意書を交わし、英国代表チームと事前合宿の覚書も締結した。

また、20年は首都圏の主要な展示場がメディアセンタリーや競技会場として一定期間閉鎖されることから、魅力的な都市観光要素や世界遺産を有する愛知県は、魅力的なMICE開催地として需要が見込まれる。

#### 愛知県が新設予定の大規模展示場の概要

所在地	▶ 空港島(愛知県常滑市)
土地所有者	▶ 愛知県企業庁
敷地面積	▶ 28.7ヘクタール
施設規模	▶ 約6万平方メートル
開業時期	▶ 2019年秋ごろ
鉄道アクセス	▶ 名鉄「中部国際空港駅」直結
道路	▶ セントレア東ICすぐ

愛知県発表資料より

MICE(国際会議やイベント)を開催

また、20年は首都圏の主要な展示場がメディアセンタリーや競技会場として一定期間閉鎖されることから、魅力的な都市観光要素や世界遺産を有する愛知県は、魅力的なMICE開催地として需要が見込まれる。

# 存在感増す 観光産業



大小の島影が美しい英虞湾のリアス式海岸(三重県志摩市)  
写真提供:三重県観光連盟

## 拡大するインバウンド消費 観光の基幹産業化に注力

日本政府観光局の調査によると、昨年の訪日外国人旅行者数は1974万人(速報値)で、前年比47.1%の増加となった。その日本旅行中の消費額(インバウンド消費)は3兆4771億円(観光庁速報値)で、同じく71.5%も増加した。11年以降、訪日外国人観光客が急速に増えており、インバウンド消費も日本経済

## 国際交流拡大のチャンス 2016伊勢志摩サミット

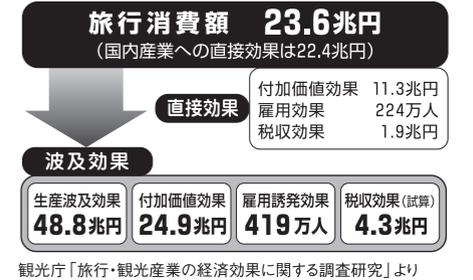
5月26、27日に三重県志摩市の英虞(あこ)湾に浮かぶ賢島で行われる主要国首脳会議(伊勢志摩サミット)。4月22日から28日には「2016年ジュニア・サミット in 三重」(子ども版サミット、桑名市)の開催も予定されている。本会議や関連行事に合わせて、各国関係者や報道関係者など、多くの人が三重県を訪れることが予想される。三重県並びに東海エリアでは、これを国内外における認知度向上、旅行客増加の絶好の機会と捉え、万全の受け入れ体制を整えている。

三重県では、官民一体となった受け入れ体制を確立する「伊勢志摩サミット三重県民会議」を設立。サミット開催支援や国際交流三重の魅力発信に取り組んでいる。全県を挙げて取り組む「おもてなし大作戦」では「クリーンアップ作戦(清掃活動)」「花いっぱい作戦」を展開する。東海3県1市の官民が連

にインパクトを与える要因となってきた。訪日外国人旅行者増加の要因としては、円安による訪日旅行の割安感やビザの大幅緩和のほか、富士山の世界遺産登録、和食や手漉(す)き和紙技術の無形文化遺産登録など、日本独特の観光資源の価値にスポットライトが当てられたこともその一つだろう。

## 中部の発展を支える企業のトップメッセージ (順不同)

### 旅行消費が国内にもたらす経済効果 (2013年)



旅行消費がもたらす経済波及効果は大きく、旅行者誘致に向けたプロモーションと受け入れ体制

を取り込もうとする動きは、様々な産業に広がりを見ている。観光資源が豊富な東海エリアでも、インバウンドの呼び込みや、観光を基幹産業化する動きは活発だ。愛知県では昨年、観光を新たな戦略産業と位置づけ「あいち観光元年」宣言を行った。訪日外国人旅行者誘致に向けたプロモーションと受け入れ体制

## 先進技術で「ものづくり」の本質追求に挑む



大島 卓 社長

当社は「より良い社会環境に資する商品を提供し、新しい価値を創造すること」を企業理念に掲げ、1919年の創立以来、社会の基盤を支え、環境保全に役立つ製品を開発・提供し続けてきました。電力用ガイシの製造で培ったセラミックス®電池など、環境・エネルギーを中心に様々な分野のセラミック製品を手掛けています。当社のものづくりを支えているのはたゆまぬ技術開発。材料の結晶の形や向きを制御し新しい特性を発揮させる材料技術

日本ガイシ株式会社 <http://www.ngk.co.jp/>



佐々木拓郎 社長

日東工業は、1948年(昭和23年)の設立以来、配分電盤や機器収納キャビネット、ブレーカーなど、工場・オフィス・住宅といった電気を利用する様々なところで使われ、生活を支える社会インフラとして、必要不可欠な製品を提供してまいりました。近年では、環境省「T1」電気と情報をつなぐ」をスローガンにエネルギーマネジメント製品、大規模地震や停電時に対応した分電盤を提供しております。また、国内だけでなく、海外でも期待される近隣アジア諸国への市場拡大を目指し、戦略的な事業投資を行うなど積極的なチャレンジを続けております。

日東工業株式会社 <http://www.nito.co.jp/>



水野一隆 社長

私たちが河村電器産業は、住宅用分電盤などの受配電設備をつくり続け、皆様の生活に「電気」の安全・安心を届けてまいりました。今年、電力の完全自由化やエネルギー管理システムの本格化に伴い、

河村電器産業株式会社 <http://www.kawamura.co.jp/>

## 失敗を恐れず挑戦し、カワムラは新しくなる

電気を効率的に使うニーズがますます高まっています。私たちが求める人材は、「自分で考え、前へ進み続ける人」です。「失敗してもいい、挑戦してみよう」。いつの時代も、新しい考え方で、新しい製品を世に出してきています。今年はそのタイミングポイントと捉えて、新しいカワムラを目指していきます。

## 優良な製品をもって社会に貢献する

今後グローバルな視野を持ち、「CONNECT T1」電気と情報をつなぐ」をスローガンにエネルギーマネジメント製品、大規模地震や停電時に対応した分電盤を提供しております。また、国内だけでなく、海外でも期待される近隣アジア諸国への市場拡大を目指し、戦略的な事業投資を行うなど積極的なチャレンジを続けております。